

アジア太平洋エネルギー研究センター拠出金(燃料)

資源エネルギー庁長官官房
国際課

令和5年度概算要求額

1.1 億円 (1.1 億円)

事業の内容

事業目的

アジア太平洋地域のエネルギー安全保障及びエネルギー・レジリエンスを強化するため、従来型のエネルギー源である化石燃料エネルギー市場の持続可能性、効率性、予測可能性、透明性を高める取組等を実施することを目的とします。

事業概要

アジア太平洋経済協力(APEC)のエネルギー専門研究機関であるアジア太平洋エネルギー研究センター (APERC) を通じて、アジア太平洋地域における石油・天然ガスの供給途絶への対応を強化し、エネルギー安全保障及びエネルギー・レジリエンスの強化を図ります。

- (1) 石油ガスセキュリティに関する人材育成・緊急時対応訓練
エネルギーの国外依存度が高いAPEC参加国・地域において、石油と天然ガスの供給途絶時対応の検討が必要です。APERCにおいて「APEC石油・ガス・セキュリティ・イニシアチブ」の下、石油・天然ガスの途絶シナリオに基づく対応訓練や情報交換を行います。
- (2) 石油ガスセキュリティに関する調査研究
APEC地域におけるエネルギー安全保障に関する調査研究及び政策提言を行います。

事業スキーム (対象者、対象行為、補助率等)



拠出金



アジア太平洋エネルギー研究
センター
(APERC)

成果目標

令和12年度までに、APECに参加する11の途上国・地域に対してセキュリティ・エクササイズを実施し、エネルギー安全保障の向上を目指します。